

令和2年10月17日 (土)
南日本新聞掲載

「ダルメシアンうなぎ!?!」

ダルメシアンうなぎ!?! 有明・野神小

志布志市有明の野神小学校に、「ダルメシアンウナギ」「パンダウナギ」とも呼ばれるまだら模様のウナギ2匹がお目見えした。市内の養鰻（ようまん）業者・有明淡水が「子どもたちに見てほしい」と9日に寄贈。児童の目を楽しませている。

保護者に同社の関係者がおり、11月に同校で開くイベントの打ち合わせで話題になり実現した。同社によ

ると、養殖ウナギの中にはまだら模様の個体が時折交じっており、突然変異とみられる。

体長は30～40センチほど。水槽の中で泳ぎ回ったり、水中に沈めたパイプや泥の中に隠れたりしている。6年生の蛭子聖七君、持田剛紀君、山下葵君は「変わっていて面白い。どうしてあんな模様になったのか不思議」と見入っていた。（永野雄一）



まだら模様のウナギを観察する児童
|| 志布志市有明の野神小学校